

A：達成できた B：概ね達成できた C：やや達成できなかった D：達成できなかった

学校教育目標	重点目標（中期目標）	今年度の重点	総合評価
たくましく かしこい子どもの育成	深く考え取り組む子ども（知） ⇒ かんがえよう 思いやりのある子ども（徳） ⇒ つなげよう 健康でがんばりのきく子ども（体） ⇒ きたえよう	一人ひとりの子どもをよき目に向け、を高める授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の理念である「7誰一人取り残すことのない、安心感のある学校づくり」を指しめ、予「予測困難な時代」を、共にたくましく生きる子どもを育てるために～」</li> <li>・「学級閉鎖」を想定し、一人ひとりの子どもをよき目に向け、を高める授業づくり</li> <li>・「学級閉鎖」を想定し、一人ひとりの子どもをよき目に向け、を高める授業づくり</li> <li>・「学級閉鎖」を想定し、一人ひとりの子どもをよき目に向け、を高める授業づくり</li> </ul>

分野	評価項目	評価の観点	評価				中間評価
			A	B	C	D	
教育活動	学級経営	誰一人取り残すことのない、安心して「予測困難な時代」を、共にたくましく生きる子どもを育てるために～」	どの方法の個性を伸ばすか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数では、スモ一ルステッブで困難を小さくしたり、合同な図形では、一人一人が合同な図形を描くことができました。しか</li> <li>・算数では、スモ一ルステッブで困難を小さくしたり、合同な図形では、一人一人が合同な図形を描くことができました。しか</li> <li>・算数では、スモ一ルステッブで困難を小さくしたり、合同な図形では、一人一人が合同な図形を描くことができました。しか</li> <li>・算数では、スモ一ルステッブで困難を小さくしたり、合同な図形では、一人一人が合同な図形を描くことができました。しか</li> </ul>
	教育課程	地域と連携した教育課程づくり chromebook や ICT 機器の活用	地域の素材・人材の参画を図った活動ができたか。 chromebook や ICT 機器を活用した授業づくりに取り組むことができたか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域と連携した教育課程づくり」を推進し、地域の方々と協力して授業づくりを行いました。</li> <li>・「chromebook や ICT 機器の活用」を推進し、児童が積極的に活用するようになりました。</li> <li>・「地域と連携した教育課程づくり」を推進し、地域の方々と協力して授業づくりを行いました。</li> <li>・「chromebook や ICT 機器の活用」を推進し、児童が積極的に活用するようになりました。</li> </ul>
	かんがえよう	最後まで話を聞く	発表者の考えをしっかりと聞き取るために、視線を向け、静かに聞くよう指導や支援をすることができたか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最後まで話を聞く」を推進し、児童が積極的に話を聞くようになりました。</li> <li>・「最後まで話を聞く」を推進し、児童が積極的に話を聞くようになりました。</li> <li>・「最後まで話を聞く」を推進し、児童が積極的に話を聞くようになりました。</li> <li>・「最後まで話を聞く」を推進し、児童が積極的に話を聞くようになりました。</li> </ul>
		自分の考えをもち、書く	わかったこと・気がついたこと・思ったことを書く時間を確保できたか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の考えをもち、書く」を推進し、児童が積極的に自分の考えをもち、書くようになりました。</li> <li>・「自分の考えをもち、書く」を推進し、児童が積極的に自分の考えをもち、書くようになりました。</li> <li>・「自分の考えをもち、書く」を推進し、児童が積極的に自分の考えをもち、書くようになりました。</li> <li>・「自分の考えをもち、書く」を推進し、児童が積極的に自分の考えをもち、書くようになりました。</li> </ul>



生徒指導	安心・安全な学校生活	学校のきまりやマナーを守って生活するように働きかけたか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のきまりはなぜあるのか、子ども達自身が考えられるように声がけをした。</li> <li>廊下歩行については、引き続き啓発していきたい。</li> </ul>
	心を込めた掃除	「もくもくタイム」を通して、心を込めた掃除を行い、学校や教室の環境整備ができたか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>無言清掃の意識が学年全体に低い。</li> <li>概ねよいが、学年やクラスによって指導に差があるように感じる。</li> <li>担任は、教室整備を心がけた。清掃は、まだまだ話をしながら行っている児童が多いため、2学期は静かに進んで清掃ができるよう声掛けをしていきたい。</li> </ul>
学校運営	保護者との連携	家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけができたか。					<ul style="list-style-type: none"> <li>学生ボランティアが有効的に機能している。</li> <li>これからもPTAの皆さんに感謝の気持ちを忘れずに、会議・活動等を行っていこうと思う。</li> <li>職員会で今以上に児童理解の時間をとれるようにしたい。</li> <li>やきいもころりんさんの読み聞かせは子どもたちも楽しんで聞いており、PTAの方々の支援がありがたいと感じた。また、今年は初任者研修が多いので、この機会に自己研鑽に努めていきたい。</li> <li>やきいもころりんの読み聞かせは、子どもたちが興味をもつように工夫・練習されていて素晴らしい。大変ありがたい。</li> <li>初任者研修を含め、研修の機会が多くあった。2学期も研修を実践に活かしていきたい。</li> </ul>
	P T A やボランティアとの連携	学校はP T A やボランティアとの連携を行っているか。		○			
	研修	児童理解・非違行為防止研修	児童理解・非違行為防止等の研修を行い、自己研鑽に努めたか。	○			